

北方圏センター だより Northern Regions Center NEWS

北方圏センター25周年記念 全道国際交流シンポジウム

「グローバル化時代の地域社会と国際交流を考える」 11月18日

グローバル化が進む中で、国際活動の意義や役割についても質的な変化が求められている今日、地域における国際交流・協力活動の意義や推進のあり方、直面する課題への対応などについて学び合おうとの趣旨でシンポジウムを開催した。意見交換などを通じて自治体や民間団体相互のネットワーク作りを図り、北海道の国際化を進めようと、会場となった京王プラザホテル札幌には道内各地の国際交流団体、自治体、関係機関から約250名が参加した。



午後1時過ぎ、(財)日本国際交流センターのチーフ・プログラム・オフィサーである毛受敏浩氏による基調講演「グローバル化時代の地域社会と国際交流」で幕を開けた。

続いて開かれたパネルディスカッション「地域における国際交流の課題と展望」では、講演した毛受氏をコメンテーターに、(財)日本国際協力センター評議員の杉岡昭子氏、滝川市長の田村弘氏、酪農学園大学の松本認教授、北方圏センターの町田真英副会長・専務理事ら4人のパネリストがこれまでの様々な事例などを発表した。

参加者はその後「市民レベルでの国際交流・協力事業の進め方」、「姉妹都市交流の活性化」、「交流団体の運営と活動のあり方」の3分科会に分かれて意見の交換を行い、シンポジウムを終了した。

(交流部)

中学生、北方圏センターを訪問

10月24日

札幌市立常盤中学校(札幌市南区常盤、角力山旭校長)の1年生26名が、総合学習の一環として北方圏センターを訪れた。同校の1年生は、今年度、「社会を支える人々」をテーマに様々な分野で仕事をする人々について学んでいて、そのうちの「国際理解」について勉強しているグループ26名がやってきた。国際会議場でセンター職員から暮らしやすい北海道を目指してオープンした北方圏センターの始まりからどのような仕事をしているかなどのお話を聞いた。

後半は、「世界がもし100人の村だったら」の話をもとにした簡単な参加型ゲームによって世界の富の不等差を体験し、今貧しいといわれている国にはどんな問題があるのかという疑問をもつこと、それぞれに異なった考えを尊重することなどを職員と生徒たちが対話しながら学んだ。

(事業部、国際協力部)



「NGO2003北海道」を発行

—希望者に差し上げます—

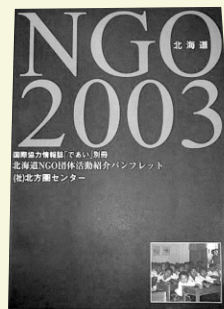
北方圏センターではこのほど「であい」別冊として、国際協力活動を行っている道内のNGOを紹介するパンフレットを作成した。

北海道NGOネットワーク協議会の加盟団体を中心に、68団体に呼びかけ、回答のあった55団体について連絡先、設立の経緯、活動内容などを掲載している。

多岐にわたる国際協力活動を支えてきた各団体を紹介することで今後さらに活動を広げる人々にとって良い手がかりになることを願っている。

《入手を希望する場合は(社)北方圏センター国際協力部までお申し込み下さい(無料)》

(国際協力部)



道内の国際協力関連イベントの情報をお届けします!

北方圏センター国際協力部では、国際協力情報収集提供事業の一環として、国際協力イベントの情報をメールにて、お送りしています。メールの配信をご希望の方は、お名前(フリガナ)とメールアドレスを、国際協力部宛にご連絡下さい。

国際協力部メールアドレス

intc@nrc.or.jp

(北方圏センターは、^{ジャイカ}JICA北海道国際センターの管理運営を委託されています)

北海道国際センター(札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号
TEL.011(866)8680 FAX.011(866)8425

北海道国際センター(帯広)

〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL.0155(35)2161 FAX.0155(35)2213



Northern Regions Center (NRC)

社団法人 北方圏センター



独立行政法人 国際協力機構

ジャイカ

本紙の送付をご希望の方、また各地の情報やご意見など下記宛にお寄せください。
国際協力情報紙「であい」第31号

発行日:2003年12月5日

発行:(社)北方圏センター〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁別館12階

TEL.011(221)7840 FAX.011(221)7845 <http://www.nrc.or.jp>

E-mail address : pbl@nrc.or.jp (出版部) intc@nrc.or.jp (国際協力部)

発行者:林 敏明

印刷:岩橋印刷株式会社